



# 二輪草だより

## 第42回 二輪草セミナー

### 『相手に伝わる発声発音法を学ぼう』

日時:2024年2月19日(月)17:30~19:00

場所:臨床講義棟 臨床第三講義室

対象:全職員・学生



ご自分の名前を、聞き間違えられたり、聞き返されたりしたことはありませんか。相手の方の聞こえに問題があったり、発音が聞き取れなかったのではなく、ご自分の声が相手に届いていなかったり、発音が不明瞭なために伝わっていなかったのかもしれません。相手に伝わる響きのある発声法と、明瞭な発音を身につけましょう。正しい訓練をすれば、必ず良い声に変わります。声は人格をあらわします。声が変わると、人格が変わり、人生が変わります。

【講師】 萬崎 由美子氏 Office Manzaki 代表  
(アナウンサー・音声言語指導者)

病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談  
【12月20日~1月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数 0回	利用回数 0回
バックアップナース	依頼回数 13回	稼働回数 12回
病児・病後児保育室	依頼回数 11回	利用回数 8回
カウンセリング相談		利用回数 3回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます



## 医学生・研修医の集い終了報告



二輪草センター 助教 菅野恭子

令和5年12月1日に医学生・研修生・女性医師の集いが開催されました。毎年旭川医師会主催で行われていますが、今年度は久しぶりの対面での開催となりました。「研修医生活ってどんなもの？」をテーマにお二人の研修中の先生方と卒後臨床研修センターセンター長の牧野雄一先生にお話し頂きました。まずはじめは、旭川医大初期研修医の吉田愛澄先生にご講演頂きました。苦手意識のあった救急外来を経験したため旭川赤十字病院をたすきがけで選択されました。職場が変わることによって大変な点もありましたが環境が変わることややる気がでたり、違う視点での考え方が身についたりした点、知り合いの同期・後輩が増える、違う種類のカルテの使い方を覚える点が良かったそうです。大学での研修の良さとして慣れた環境で仕事ができるためストレスが少ないことや同期の数が多いので集まって勉強になったそうです。あらゆる科がそろっているのも、大学内だけで研修が完結でき、医局の雰囲気もみれることを挙げられていました。最後に病院は一長一短でその病院でどのように研修するかが大事とのことでした。学生時代には長期休暇でしかできないことを今のうちにしておく事、自分の心身が一番大事であることの大切さを強調されていました。お二人目は旭川赤十字病院で研修中の武田紗季先生に研修病院



吉田 愛澄先生



武田 紗季先生

の選び方と実際に働いてみてのお話しをして頂きました。赤十字病院では救急疾患をしっかり学べる点が良かったそうです。働く前は研修における不安な点として体力、仕事とプライベートの両立、人間関係を挙げられていました。当直は月5~7回程度との事ですが翌日の業務は免除されることや日常業務についても相談し調整することが可能だったそうです。プライベートでは仕事に追われることはなく自己研鑽の時間はあるそうです。家事や趣味の時間を確保できるとのことでした。人間関係については日ごろから基本的な挨拶や雑談などのコミュニケーションをとるようにしていたそうです。研修先として完璧なところはない、自分のやる気次第であるとお話しされていました。牧野雄一先生からは臨床研修管理者からと題してご自身の体験談を交えてお話下さりました。臨床研修に王道も近道もないこと、基本理念を噛み締める事、各自の目標達成に向けて、自分のペースと方法で研修に臨むことが重要であることをお話されました。卒後臨床研修センターはあらゆるサポートをする準備があるので安心して研修してほしいとのことでした。進路は自分が本当にやりたいことを選択すること、ルール、マナーを守って研修すること、プライベートの充実も大切であること、若いころの豊かな感性で勉強できるのは今しかないという気持ちで研修してほしいとのことでした。またチーム医療の実践の重要性、社会における医療の実践についてもお話されていました。



牧野 雄一先生



長谷部 千登美先生

最後に旭川市医師会 女性医師部会 部会長 長谷部千登美先生から医師会の活動についてご紹介がありました。医師会を持つことは医療を取り巻く諸問題について現場の意見を伝える意味で重要であること、入る事様々なメリットについて解説頂きました。その後は参加した学生と先生方との質疑応答がありました。現場で働く先生方と疑問や不安を率直に話せる良い機会だったのでないかと思えます。主催頂きました旭川市医師会および北海道医師会にこの場を借りてお礼を申し上げます。またお忙しい中ご講演頂きました先生方にも深謝致します。

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分~17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

